



表紙シリーズ／雲仙市の子ども

## 主な内容

P2 平成26年第3回定例会概要

P8 常任委員会報告

P11 市政を問う「一般質問」

P17 議会のうごき

P20 12月定例会会期日程(案)

# 定例会の概要

平成26年第3回定例会は、8月28日～9月26日の30日間開催され、子ども・子育て支援法案の施行に伴い、雲仙市の関連条例の議案を始め、一般会計の補正予算案及び平成25年度各会計の決算認定議案等が審議されました。主要内容について紹介します。

## 子ども・子育て支援関連、3条例の制定

- **特定教育・保育施設及び特定地域保育事業の運営に関する基準**
  - ・ 認定こども園、幼稚園、保育所及び小規模保育事業の運営基準を定めたもの
- **家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準**
  - ・ 小規模保育、家庭的保育、事業所内保育及び居宅訪問型保育の設備及び運営基準を定めたもの
- **放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準**
  - ・ 学童保育における設備及び運営基準を定めたもの



## 税条例の一部改正

- 軽自動車税の納期が変更になります。(平成27年度から)

改正前	改正後
4月15日～同月30日	5月11日～同月31日

# 平成26年 第3回

## 平成26年度補正予算

### ◆一般会計補正予算（第2号）

- **社会保障・税番号制度システム整備事業** **2,123万1千円**
  - ・関連するシステムの改修・整備により、行政の効率化と住民の利便性の向上を目指す。



マイナンバー広報用  
ロゴマーク「マイナちゃん」

- **予防接種事業** **671万6千円**
  - ・予防接種法改正により、水痘（水ぼうそう）の定期予防接種実施
  - ・小児インフルエンザ（任意予防接種）の市助成金の増額



- **先導的「低炭素・循環・自然共生」地域創出事業** **1,297万1千円**
  - ・市民、事業者、市が一体となって、「エネルギー自給自足のまちづくり」を推進。（環境省委託事業）



小浜バイナリー発電所

- **繰上償還元金** **5億6,165万8千円**
  - ・平成25年度の決算に伴い、余剰金で繰上償還を実施
  - ・地方債（市債）元金繰上償還金：民間金融機関9件



# 平成25年度一般会計 及び 特別会計決算概要

一般会計及び特別会計の決算額は、歳入総額399億1,041万6千円、歳出総額385億2,581万円となり、前年度の決算額に対し、歳入では0.6%の減、歳出では0.4%の減となっています。

## 各会計の決算状況

(単位：千円)

会計区分	歳入	歳出	歳入歳出差引	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額	
一般会計	29,653,263	28,518,989	1,134,274	53,848	1,080,426	
特別会計	国民健康保険特別会計	7,567,429	7,389,372	178,057	0	178,057
	後期高齢者医療特別会計	460,594	460,485	109	0	109
	簡易水道事業特別会計	917,956	876,904	41,052	16,410	24,642
	下水道事業特別会計	1,138,907	1,111,254	27,653	12,540	15,113
	国民宿舎事業特別会計	161,852	158,554	3,298	0	3,298
	温泉浴場事業特別会計	10,415	10,252	163	0	163
	小計	10,257,153	10,006,821	250,332	28,950	221,382
平成25年度総額	39,910,416	38,525,810	1,384,606	82,798	1,301,808	
平成24年度総額	40,151,026	38,699,595	1,451,431	146,839	1,304,592	
増減率 (%)	△0.6	△0.4	△4.6	△43.6	△0.2	

## 各常任委員会の決算審査状況

一般会計、特別会計の国民健康保険及び後期高齢者医療については、採決の結果、賛成多数で認定し、その他の特別会計は全会一致で認定となりました。

# 討 論



賛 成

反 対

## ◆集团的自衛権の行使容認に反対する請願書 **不採択**

そもそも集团的自衛権の行使というのは、日本に対する武力攻撃がなくても、他国のために武力の行使をするということを意味しています。アメリカの戦争のために日本の若者の血を流すというのが、集团的自衛権の正体です。解釈改憲を「閣議決定」で決めることは絶対に認められません。雲仙市議会は断固とした意志を安倍首相に対して示すべきです。 【上田 篤 議員】

閣議決定は、我が国を取巻く安全保障環境が根本的に変容し、変化し続けている中で、国民の命と平和な暮らしを守り抜くため、如何にすべきかとの観点から、新たな安全保障法制の整備のための基本方針を示されたものであり、抑止力の向上と地域および国際社会に積極的に貢献することを通じて、我が国の平和と安全を一層確かなものにするためであります。

【浦川 康二 議員】

## ◆平成25年度雲仙市一般会計歳入歳出決算認定について **可 決**

一般会計における決算は、歳入総額296億5326万3千円、歳出総額285億1898万9千円となっており、前年度と比較すると歳入は1.6%の増、歳出は2.1%の増となっています。

大変厳しい財政状況の中ではありますが、雲仙市の中期財政計画に基づき健全な財政運営が執行されていると判断し、認定に賛成します。 【浦川 康二 議員】

反対理由の第1は、ヒルクライムチャレンジシリーズ2012雲仙普賢岳大会に係る疑惑の中で、同2013大会に140万円の補助金を支出している。

第2は、市は漁民の窮状に目を向けず、国の違法な福岡高裁確定判決無視の態度に歩調を合わせている。第3は国民健康保険の改善に取り組んでいない。国保税を低くするために一般会計からの法定外繰入を行うべき。

【上田 篤 議員】

## 意見書を国へ送付しました

### 少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1の復元を求める意見書について

子どもたちに最善の教育環境を提供していくために定数の改善を行い、少人数学級を推進するとともに、全国的な教育水準を確保し、安定した地方財政を構築するために、義務教育国庫負担率を2分の1に復元することを強く要望するもの。

【提出先】 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣

### 手話言語法制定を求める意見書について

手話が音声言語と対等であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及し、研究することができる環境整備を目的とした「手話言語法」を制定することを強く要望するもの。

【提出先】 内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣

# 平成26年第3回雲仙市議会定例会議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
報告 第 3 号	平成25年度雲仙市決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	—
議案 第41号	長崎県病院企業団規約の変更に関する協議について	原案可決
議案 第42号	雲仙市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案 第43号	雲仙市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案 第44号	雲仙市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	原案可決
議案 第45号	雲仙市福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第46号	雲仙市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第47号	雲仙市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第48号	雲仙市立公立公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第49号	雲仙市ふれあいの村陶芸館及び茶室の設置及び管理等に関する条例を廃止する条例について	原案可決
議案 第50号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決
議案 第51号	平成26年度雲仙市一般会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案 第52号	工事請負契約の締結について	原案可決
認定 第 1 号	平成25年度雲仙市一般会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 2 号	平成25年度雲仙市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 3 号	平成25年度雲仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 4 号	平成25年度雲仙市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 5 号	平成25年度雲仙市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 6 号	平成25年度雲仙市国民宿舎事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 7 号	平成25年度雲仙市温泉浴場事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定
認定 第 8 号	平成25年度雲仙市水道事業会計決算認定について	認 定

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第53号	雲仙市固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決
議案 第54号	雲仙市固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決
議案 第55号	雲仙市固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案可決
議案 第56号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決
議案 第57号	訴えの提起について	原案可決
議案 第58号	平成26年度雲仙市一般会計補正予算（第3号）案について	原案可決
請願 第2号	集団的自衛権の行使容認に反対する請願書	不採択
請願 第4号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1の復元に係る意見書採択請願書	採 択
請願 第5号	手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書	採 択
発議 第3号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1の復元を求める意見書について	原案可決
発議 第4号	手話言語法制定を求める意見書について	原案可決

## 賛 否 表

	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
	結 果	表 決 数	渡 辺 勝 美	中 村 好 治	佐 藤 義 隆	林 田 哲 幸	坂 本 弘 樹	酒 井 恭 二	平 野 利 和	浦 川 康 二	大 久 保 信 一	深 堀 善 彰	上 田 篤 篤	町 田 康 則	松 尾 文 昭	森 山 繁 一	前 川 吉 治	小 畑 康 一	元 村 武 久	井 上 孝 明	小 田 孝 誠	町 田 誠
集団的自衛権の行使容認に反対する請願書	不採択	1:18	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	▲	●	●	●	●	●
平成25年度雲仙市一般会計歳入歳出決算認定について	認定	18:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	▲	○	○	○	○	○
平成25年度雲仙市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	18:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	▲	○	○	○	○	○
平成25年度雲仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	17:2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	▲	○	○	○	●	○

○賛成      ●反対      ▲欠席



付託案件	審議結果
集団的自衛権の行使容認に反対する請願書	不採択
雲仙市税条例の一部を改正する条例	原案可決
平成26年度一般会計補正予算（第2号）案	原案可決
工事請負契約の締結	原案可決
平成25年度一般会計歳入歳出決算認定	認定

本委員会に付託された左記の案件について、不採択1件、原案可決3件、認定1件と決定しました。  
主な案件の質疑内容は次のとおりです。

## 集団的自衛権の行使容認に反対する請願書

**意見** 今年7月1日に行われた閣議決定は、わが国を取り巻く安全保障環境が変化し続けている中で、国民の命と平和な暮らしを守り抜くとの観点から、新たな安全保障法制の整備のため基本方針を示すものであると考える。請願書の文面にあるような「日本を海外で戦争をする国にしようとするもの」と断定されたものではなく、関係法令については今後国会において十分な議論がなされることから、不採択が妥当と思われる。

全会一致で不採択すべきものと決定した。

## 雲仙市税条例の一部を改正する条例

軽自動車税の納期を、4月から5月に変更しようとするもの。  
**質疑** 軽自動車税を5月に課税するメリットは。

**答弁** 課税漏れの改善や、車検時の納税証明書の発行がスムーズにできるようになる。

# 総務

**意見** 県内では雲仙市・松浦市以外の市が5月に課税を行っており、市民にとって有益なことは先行して実施してほしい。

## 工事請負契約の締結

雲仙市役所増築工事（建築主体工事）に係る工事請負契約を締結しようとするもの。

**意見** 今回の市役所増築工事を、解体工事、建築主体工事を、機械設備工事、電気設備工事と分離分割発注した理由が、地元業者の受注機会の確保という説明であるが、実際には市内にそれぞれ登録業者が何社あるか確認していなかった。まずはそのようなデータを把握した上で、分離分割発注すべきではないか。

## 平成25年度一般会計歳入歳出決算認定

**質疑** ふるさと応援推進事業について、寄附金を増やし事業の効果を上げていくべきではないか。

いか。

**答弁** 今後の計画について庁内で協議中であり、更に内容の充実を図るとともに、市の物産等のPRに繋がるよう努めていきたい。

**質疑** 単独電算システム事業の効果をどう考えているか。

**答弁** 高額な予算を投じ、今まで以上に市民に対し、すみやかな対応ができるようなシステムを構築することを念頭に整備を進めてきており、これまでよりもより良いものになると考えている。

**意見** 総合支所において庁舎の設備が異なっているのは理解できるが、管理方法の基準など統一していくべきではないか。

**意見** 常備消防費として、県央及び島原地域広域市町村圏組合の両組合に負担金を支出しているが、救急車等の協力体制が取れていない。市民からの要望に応えるためにも、島原半島内で最寄りの救急車が出動できるように協議を進めてほしい。



審査状況



# 常任委員会報告

付 託 案 件	審議結果
雲仙市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定ほか9件	原案可決
平成26年度一般会計補正予算（第2号）案ほか1件	原案可決
平成25年度一般会計歳入歳出決算認定ほか3件	認 定
手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書ほか1件	採 択

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決12件、認定4件、採択2件と決定しました。  
主な案件の質疑内容は次のとおりです。

雲仙市立六公民館の設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例

**質疑** 使用しなくなっているが、その理由が経過しているが、その理由は何か。

**答弁** 以前から雨漏りがあったり、外壁等についてもひび割れ等が発生したりしており、補修が必要であったため。

雲仙市ふれあいの村陶芸館及び茶室の設置及び管理等に関する条例を廃止する条例

**質疑** 公売についての説明は後日行うのか。

**答弁** 今回は条例の廃止についての議案であるため、市有財産評価委員会に諮り財産処分を行う際には、再度説明を行う。

損害賠償の額の決定及び和解（車両破損）

**質疑** 事故があった土地は市の所有か社協の所有か。また、作業は何名で行っていたのか。

**答弁** 土地については、個人の土地を社協が借用している。作業については、3名で行っていた。

平成25年度一般会計歳入歳出決算認定

**質疑** 生活保護受給者就労支援事業について、市は就労させるための支援をどのようにしているのか。

**答弁** 現在、就労支援員1名を配置している。また、毎月第2水曜日にはハローワークからも巡回相談に来てもらい支援を行っている。25年度では53名の対象者の内、19名が就労し、この内の2名については、保護から脱却した。

平成25年度雲仙市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

**質疑** 現年度課税分の徴収率が昨年度と比較して1.1%増加していることは評価するが、医療給付費分現年課税分の不能欠損はどのような理由によるものなのか。

**答弁** 外国人の方が就労等で入国されると殆どの方が国保に入されるが、納期の途中で帰国した場合のものである。

損害賠償の額の決定及び和解（家屋破損）

**質疑** 今回の過失は誰の責任になるのか。

**答弁** 雲仙市の管理規則では、学校の施設の管理については、校長の権限において校長が行うことになっているため校長の責任になると考えているが、学校を指導・監督する立場から教育委員会としても責任を感じている。

訴えの提起

**質疑** 公の施設を営利目的として利用させることに問題はないのか。

**答弁** 施設の管理に関する条例では、営利目的での利用等を制限する項目は設けていない。現在、社会教育活動では、受益者のニーズの多様化等から民間の活力を活用して行われることが多い。このような場合、相応の受益者負担を伴いながら市民ニーズが満たされているものであるため、このような活動を後退させるようなことは適切ではない。

手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書

本請願の趣旨に賛同できるとして全会一致で採択すべきものと決定した。

今回の議案に係る「ふれあいの村陶芸館及び茶室」の現地調査を実施



ふれあいの村陶芸館及び茶室



審査状況

## 文教厚生

付 託 案 件	審議結果
平成26年度一般会計補正予算（第2号）案 ほか1件	原案可決
平成25年度一般会計歳入歳出決算認定 ほか4件	認 定
農協改革並びにTPP交渉に関する請願書	継続審査

本委員会に付託された左記の案件について、原案可決2件、認定5件、継続審査1件と決定しました。  
主な内容は次のとおりです。

## 平成25年度一般会計歳入歳出決算認定

**質疑** 諫早湾水産振興特別対策事業として、瑞穂漁協のアサリ稚貝放流に補助をしているが、今年当漁協は、貝が少なかつたため、潮干狩りができない状況であったと聞く。費用対効果など、この状況をどのように考えているのか。

**答弁** 今後、県の水産機関や諫早湾地域振興基金とも一体となつて調査研究していきたい。

**質疑** 農地保全事業は住民からの要望も多い。どう考えているのか。

**答弁** 予算の3倍くらいの申請がある。何年も待っている方やなかなか事業の完成が見込めない方もいるので、財政当局に予算を要求していきたい。

**質疑** 海外宣伝誘致事業の今後の展開をどう考えているのか。

**答弁** 県観光連盟などの連携をはかり、しっかりと誘客に結び付けて行きたい。

**質疑** 雲仙市産業まつりは、市外からの来場者が多いのか。効果はあっているのか。

**答弁** 正確な分析はしていない

## 産業建設

が、ほかのイベントと比較しても市外・県外からの来場者も多いという認識でいる。今後調査していきたい。

**意見** 市営住宅改善事業は市営住宅使用料の範囲内で行うなど、事業を実施する上で、歳入面にもっと敏感になつてもらいたい。

**質疑** 小浜木場山領線の進捗状況はどうなっているのか。

**答弁** 早期完成を考えているが、国からの交付金が要求に対する半分程度の割当であるため、なかなか事業の進捗を上げられないことが、主な理由として挙げられる。

## 平成25年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定

**質疑** 工事途中である吾妻地区の使用料収入が高いのは、水洗化率が急激に高くなつたためか。

**答弁** 水洗化率も高くなつているが、加入人数も多いためである。

## 農協改革並びにTPP交渉に関する請願書

**意見** 継続審査を求めめる。全会一致で継続審査すべきものと決定した。

## 現地調査を実施

今回の議案に関連する事業について、11箇所の現地調査を実施した。



南申山赤間漁港海岸高潮対策工事



審査状況



市道吾妻西光寺線道路災害復旧工事



# 市政を問う

## 11名の議員が一般質問



町田 康則…P11  
平野 利和…P12  
森山 繁一…P12  
浦川 康二…P13

町田 誠…P13  
上田 篤…P14  
大久保信一…P14  
坂本 弘樹…P15

井上 武久…P15  
元村 康一…P16  
小田 孝明…P16

一般質問は、質問者自身が議事録をもとに原稿を作成しています。

## 防災訓練の重要性

**町田議員** 東日本大震災の被災地の岩手県釜石市では、すべての小中学校にいた約3千人全員が無事だった。それは、被災前から防災教育をし、避難訓練を徹底して実施してきたからだ。釜石の奇跡は偶然に起きたわけではない。訓練がいかに大切かと分かるなら、自治会が防災訓練をした時は活性化交付金の1万円補助ではなく防災訓練時は3万円の補助額とすれば、自治会が積極的にやるのでは。

**町田議員** 自治会ごとに防災組織はあるが、訓練の実施は。少数の自治会しか実施していない。  
**広瀬市民生活部長** 訓練は

### 防災訓練・防災教育は



まちだ やすのり  
町田 康則 議員

**町田議員** 雲仙市の観光統計では観光客数が352万人、対前年比1・8%増で、これは円安や格安航空の就航の影響で外国人観光客数が1・5倍に増えているからである。国も県も外国人観光客対策を種々している。雲仙市は市内観光施設の看板等外国語表記はチェックしたのか。  
**松尾産業振興部長** まだチェックはしていない。  
**金澤市長** 外国人対策は施策の中で重点的にとらえたい。

### 外国人受入の観光対策は

**町田議員** 平成24年に同町とは、災害時の相互応援協定を結んでいる。行ったことがないのなら、早期に足を運びお互いの交友を深めるべきだ。

**広瀬部長** 活動に何らかの手当てが可能か、勉強してみたい。  
**町田議員** 市長は栃木県高根沢町に行ったことがあるか。  
**金澤市長** 行ったことはない。



# ピロリ菌検査導入を



ピロリ菌

**平野議員** 今回で4回目の質問になる。胃がん発症の原因でもあるピロリ菌が胃の中にいるかどうかの検査導入を提案したい。

**金澤市長** 国保の医療費抑制等の観点からもピロリ菌検査導入に向け、南高医師会及び南島原市と連携して調整していく。



ひらの 平野 としかず 利和 議員

## がん対策の施策は

**平野議員** 南高医師会、南島原市の協議ができたと仮定して導入時期を尋ねる。

**広瀬市民生活部長** 早ければ来年度くらいに始めたい。

**平野議員** ピロリ菌検査導入を求める署名活動等も行なわれ、7月28日に金澤市長へ届けて、市民も関心を持っている。

## 環境対策は

**平野議員** 自然環境を壊す事がないよう「自然環境と再生可能エネルギー事業に関する条例」を制定してはどうか。

**広瀬部長** 雲仙市は観光都市であり、観光振興を進めている。景観条例の改正などで

地区指定などしながら協定を求めていく形で、制定ができればと考えている。



太陽光パネル

# 地方自治の見直しは



もりやま 森山 しげいち 一 議員

## 教育委員会の在り方は

**森山議員** 今回の法改正では教育委員長と教育長の合体、新しいトップを首長が任命となっている様であるが。

**山野教育長** 地方教育行政の責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化、地方に対する国の関与の見直し、地方教育行政制度の改革を行い、主な改正内容は教育行政の責任を明確にして、教育委員長と教育長を一本化し、新教育長を置き、新教育長は首長が議会の同意を得て直接任命することになる。

## 農業委員会の今後は

**森山議員** 農業委員会制度の見直しの方針が出され、選挙や団体の推薦による農業委員の現任制度を廃止し、市町村長が任命する仕組みに一元化する方針の様であるが。

**秋山農業委員会事務局長** 農業委員の選任方法であるが、選挙制度や議会及び団体推薦による選任制度を廃止し、地域からの推薦、公募等を事前に行った上で、議会の同意を要件とした市長の選任制度の変更が予定されており、委員数を半分程度、認定農業者、女性、青年農業委員を積極的に登用する。農地利用最適化推進委員を新設し農業委員会で選任するとされている。

## 他の質問

- ・ 農業振興は
- ・ 台風8号への対応、結果は
- ・ 介護事業の取り組みは

# ふるさと納税の取組は



うらかわ やすじ  
浦川 康二議員

## 積極的取組の具体策は

**浦川議員** 全国自治体のふるさと納税への取組状況は。

**大塚政策企画課長** 平成24

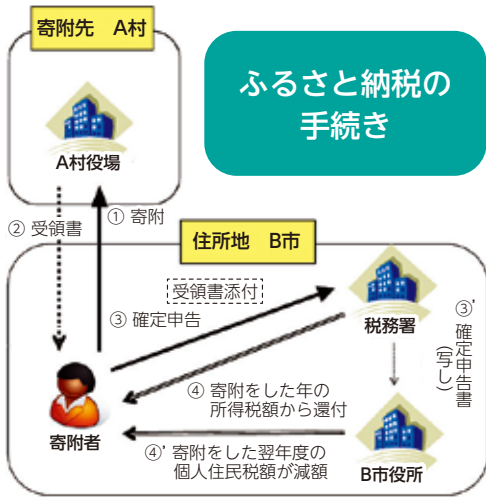
年度全国自治体が受けた納税額は約130億円となっており。県内平戸市では、高い還元率のポイント付与制度を導入して、今年目標額1億円に対し、既に2億円を突破している。

**浦川議員** 雲仙市の取組状況とこれまでの実績は。

**金澤市長** 平成20

年にふるさと応援寄附条例を施行し、受入体制を整え、実績は5年間で299件、約2406万円

## ふるさと納税の手続き



となっている。

**浦川議員** 雲仙市は税制改正に伴い、早期にふるさと納税制度に取組まれているが、

他自治体が寄附額の増加がある中で、雲仙市は所望の実績が得られていないと判断する。今後の具体的取組は。

**金澤市長** 寄附額の増・市

及び特産品の広報、地場産業の活性化などの効果が期待されることから、寄附意欲を刺激するような、本市の特産品や観光施設を活用して、来年度からの実施に向け、今後の取組を加速し、積極的に取組んで行く。

# 生命を尊重する指導は



まちだ まこと  
町田 誠議員

## 命の教育や事件再発防止は

**町田議員** 今回佐世保市で

発生した高校女子生徒が同級生を殺害する衝撃的な事件が発生したが、一体何が少女を事件に向かわせたのか。平成13年より、ココロねっこ運動をスタートさせ、子供を皆で育てようと県民運動を展開したが、現実には平成15年長崎市で平成16年に佐世保市で大きな事件が発生している。雲仙市では命の教育やいじめに対する学習や指導はどのようなか。

**金澤市長** 大変痛ましい事

案が発生したことに対して心よりお悔やみを申し上げる。命の教育に対しては、学校、

家庭、地域で連携して取り組むべき教育の重要課題と考えており、教育委員会で指導を徹底している。

**山野教育長** 命の教育につ

いて、道徳の指導の時間において生命を尊重する内容項目を年間指導計画に位置付けて指導している。

**町田議員** 教育長、約束し

てほしい。佐世保の事件が最後になるように。また学校管理職による子供の校内での指導は。

**山野教育長** ココロねっこ

運動の大きな活動の一つに挨拶運動・声かけ運動があり、再度指導していく。

他の質問

・公立学校の夏休みの短縮は



ココロねっこ運動キャラクター「ココロちゃん」



# 介護サービスが低下



うえだ あつし  
上田 篤 議員

## 介護保険「改正」で加入者の権利は保障されるか

**上田議員** 医療介護総合法

が6月に国会で成立した。これにより介護保険はどうなるのか。また、最大の問題とされる要支援者向けサービスはどうなるのか。

**金澤市長** この法律は団塊世代（昭和22年〜24年生まれぐらい）の方々が75歳以上になる平成37年を見据えて、医療介護の給付の重点化、効率化を進めるものだ。

**岸川市民福祉部長** 通所介護と訪問介護の2つの介護予防サービスが（介護保険事業から）島原地域広域市町村圏組合が行う地域支援事業の中に移行される。このサービス

の実施は指定介護事業者やNPO、ボランティアなどになるが、現在検討中である。

**上田議員** これまでは介護保険に入っていれば定められた水準のサービスを受ける権利が保障されていた。新たな制度ではサービスが低下するのではないかと。NPOやボランティア、民間事業者には特別な資格は要らないのではないか。素人にまかせることになるのではないかと。

**岸川部長** NPOなどが行うサービスに資格が必要かどうかは聞いていない。



### 他の質問

- ・ヒルクライム大会
- ・南串山町の井戸水問題

# 国の4つの農政改革は



おおくぼしんいち  
大久保信一 議員

## 農政改革の取り組みは

**大久保議員** 国は4つの農

業改革として、農地中間管理機構の創設、経営所得安定対策、水田フル活用と米施策、日本型直接支出制度の改革を進め、強い農林水産業を作り上げることが目的としている。雲仙市としての取り組み状況は。

**金澤市長** 市の基幹産業である農業が足腰の強い農業として確立するために、この農政改革を早期に定着させることは重要であり、制度等の周知を徹底する。

**松尾産業振興部長** 農地中間管理機構を通じた農地の貸し借りにより、農地の集積、集約を図り、推進策として集

積協力金等が交付される制度である。経営所得安定対策は作物の収入減少影響緩和対策で、販売収入が標準的収入を下回った場合、差額の9割を交付金で支払われるのがナラシ対策で、畑作の直接支払交付金がゲタ対策である。水田フル活用は水田の直接支払交付金の見直しにより、農業者自らの経営判断で、需要に応じた米の生産が行える環境整備が進められている。日本型直接払制度には21組織が参加し、市内の農地の25%を示している。

## 市道吾妻寺ノ前線の進捗は

**大久保議員** 寺ノ前線は工業団地内の市道廃止に伴った代替道路として計画されている。進捗状況については。

**野口建設整備部長** 事業進捗が図れず大変迷惑をかけている。工業団地内の市道代替道路として事業推進に向けて努めていく。



## 環境問題取り組み強化



さかもと ひろき  
坂本 弘樹 議員

### 電気自動車の普及拡大は

**坂本議員** 環境都市宣言を

踏まえ、電気自動車の公用車としての導入・充電設備の設置・電気自動車の軽自動車税減免はできないか。

**金澤市長** 快適な生活環境

となる低炭素社会の実現に向け、現在作成を進めている環境基本計画へ電気自動車等の導入促進及び車種に係る軽自動車税の減免措置導入について盛り込み推進するよう考えている。



電気自動車

### 森林間伐材の利用を

**坂本議員** 長崎県で木質

チップを燃料とする加温機ボイラーの開発、実証実験が進んでいる。市として行政施設への木質チップを燃料とするボイラーの導入を計画できないか。

**松尾産業振興部長** 現在の

木質チップ用材の生産量では年間を通したボイラー稼働を賄えず、間伐面積を増やす必要がある。事業費の確保、事業体の体制整備等解決が必要であり、現状では難しい。

**坂本議員** 農業用の補助暖

房機として、丸太をそのまま燃焼させる薪ストーブの導入に補助できないか。

**松尾部長** 施設園芸省エネ

設備導入事業の活用が考えられるが、効果を証明できる試験結果が必要になる。

## 観光事業補助金の顛末



いのうえ たけひさ  
井上 武久 議員

### 事務処理の経過は

**井上議員** 第1回定例会質

問終了後執行部は、弁護士に相談した結果、告発を前提に警察に相談を開始したとの報道があったが、その後の経過は。

**金澤市長** 調査委員会の調

査結果、実行委員会の会計処理は、支払い実態のない領収書及び寄附金の相殺により、本来補助金の対象から除外されるべきものが実績額として計上しており、補助金の返還では看過することができないと判断し、5月19日告発を前提に、警察に相談を開始した。

**井上議員** 雲仙署は告発状をその後受理されているのか。

**酒井副市長** 現在受理されていない。

**井上議員** 受理されない場合はどうなるのか。

**金澤市長** 実害が確定している県のほうが、補助金の返還で済まされるのか、被害届、告訴をされるのか警察の判断に大きな影響を及ぼしている

と推測している。

**井上議員** 事務処理における今後の防止策等の対応は。

**松尾産業振興部長** 今回の

事案は、市の補助金の執行管理が十分でなかったことが大きな要因であり、現在観光振興補助金交付要綱等の改正を進めるとともに、事務取扱いに関するマニュアルを策定して、チェック体制の見直しを図っている。

**井上議員** 市民が納得でき

る観光振興策の市長の考えは。

**金澤市長** 雲仙市の観光予算のうち、島原半島全体、ジオパークとか世界遺産等に関する予算割合が必然的に増えている。県と連携し、観光事業者が雇用を維持して、納税を果たせる観光行政を研究する。

# 教育行政の諸問題



もとむら やすかず  
元村 康一 議員

## 学校現場に対する指導管理監督

**元村議員** 「飛びおりてもらおうかな。冗談だけど休み時間のゲーム中に教諭が発言」という見出しが、8月12日の長崎新聞に載った。本案の内容や経緯、処分、今後の対応は。

**山野教育長** 市内小学校の教諭が不適切な発言をしたもので、処分は市教委が行う指導措置の中で最も重い文書訓告とした。

**山本教育次長** 今後は、各学校の指導監督を徹底したい。

## 学校と家庭との望ましい関係作り

**元村議員** 教育基本法が改正され、第10条に父母その他

の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するとの条文が盛り込まれた。家庭教育の重要性、保護者の責任を問うたものだと言える。昨今はさまざまな教育問題の解決や対応で、学校と保護者の言い分が対立することが見られるように感じる。子どもたちの豊かな成長のためには、学校と家庭がお互いの立場を尊重し合って連携、協力していくことが重要だと思うが。

**山本次長** 指摘のとおりであり、連携した取り組みが推進されるよう支援していく。

## 台風11号により損害を与えた事故の対応

**元村議員** 小学校のプールサイドに設置されている移動式テントが台風で飛ばされ、住宅2棟・物置1棟に被害を与えたが。

**山本次長** 台風の影響を過小評価し適切な管理を怠った。学校を指導する市教委の責任でもあり、損害賠償を行うとともに、再発防止に努める。

# 市内製造業の支援を



おだ こうめい  
小田 孝明 議員

## 食品製造業が減っている

**小田議員** 市内製造業の現状と振興対策は。

**金澤市長** 平成17年と平成24年の比較では95事業所が24件減少し、従業員では2271人から127名減少している。事業所の大規模化も見られる反面、小規模事業所の減少が大きく厳しい状況である。

**小田議員** 事業所が従業員を1人でも増やす時、何らかの支援はできないのか。

**松尾産業振興部長** 中小企業振興資金の融資利用で経営の安定により、新たに雇用が生まれると考える。

**小田議員** 市が発注した工事業業に市内製造の資材をどのくらい使用しているのか。

**畑中総務部長** 数量は把握していないが、平成25年度5百万円以上の工事が134件あり、市内本社の下請と資材の調達との合計で111件である。

## 市内事業者の製造資材を

**小田議員** 市が発注する工事業費が35億円の3割を市内製造資材を使用すれば10億円の経済効果は大きい。市外や県外産の使用となると10億円は外に飛んで経済効果はない。県や長崎市のように、市の財源で発注する事業はより経済波及効果を高める姿勢で取り組むべきだ。

**金澤市長** 事業活動を強制的に制限することの可否、マーケットを制限することが事業所にとってメリットがあるものかどうか、議員の指摘も含め研究したい。

他の質問  
・交通安全について



# 議会のうごき



7月24日 (木)

## 第9回雲仙市中中学生弁論大会

第64回「社会を明るくする運動」の一環として、第9回雲仙市中中学生弁論大会が国見町文化会館「まほろば」で開催され、元村康一文教厚生常任委員長以下4名の議員が出席しました。市内7つの中学校から12名の中学生在が参加し、熱弁を振るいました。

7月25日 (金)

## 第9回雲仙市民スポーツ大会総合開会式

平成26年度第9回雲仙市民スポーツ大会総合開会式が吾妻町ふるさと会館で開催され、町田誠副議長以下5名の議員が出席しました。

8月2日から21種目の競技が開催され、熱戦が繰り広げられました。



7月29日 (火)

## 県への施策に関する要望・提案活動

長崎県への施策に関する要望・提案活動を市及び議会合同で行いました。

この要望活動は毎年行われており、多比良港埋立地の整備や幹線道路の整備等15項目について、直接、中村知事へ要望を行いました。



8月19日 (火)

## 第3回島原半島3市議会議員研修会

今回で3回目となる島原半島市議会議員研修会が雲仙市瑞穂町の森田屋で開催され、本市からは大久保議長以下17名の議員が参加しました。

島原振興局より幹線道路の整備状況について説明を受けました。







8月23日 (土)

**国立公園雲仙指定80周年記念式典・  
島原半島世界ジオパーク認定5周年記念式典**

国立公園「雲仙」は、昭和9年に日本で最初の国立公園の指定を受けて以来、80周年を迎えました。世界ジオパーク認定5周年と合わせ、これらを記念する式典が行われ、大久保議長以下11名の議員が出席しました。

8月21日 (木) ~ 22日 (金)

**長崎県市議会議長会臨時総会  
長崎県市議会議長会議員研修会**

松浦市において長崎県市議会議長会臨時総会が開催され、大久保議長が出席しました。翌日の研修会には大久保議長以下9名の議員が参加し、「国史跡鷹島神崎遺跡の歴史的意義」について研修しました。



9月30日 (火)

**韓国求礼郡議会訪問団来訪**

雲仙市の姉妹都市である韓国求礼郡議会訪問団13名が本市を訪問されました。

市役所への表敬訪問のほか、市内の観光施設、農業施設などを視察されました。

今後、更なる両都市の発展と交流促進を期待します。

10月12日 (日) ~ 22日 (水)

**長崎がんばらんば国体**

第69回国民体育大会が45年ぶりに長崎県で開催され、サッカー (少年男子)、ボクシング、馬術競技が雲仙市で開催されました。大久保議長以下多数の議員が、全国各地から郷土の代表として参加された選手の皆さんの、レベルの高い力と技に声援を送りました。



# 議会用語解説

## 決算認定

議会が、一会計年度の歳入歳出の執行の実績である決算について、その内容を審査したうえで、収入・支出が適法かつ正当に行われたかどうかを確認することをいう。

議決事件の一つである。

決算審査に当たっては、議会として、法令、条例、規則等関係法規に対する適合関係、係数的正誤等にとどまらず、過去の財政運営を通じて問題点を発見し、将来の財政運営にこれを反映させるといった視点からの検討も期待されている。

(地方議会運営事典 ぎょうせい より)



議会基本条例に基づいて一般市民と議員との懇談会、意見交換会の開催を切に望みます。(まちづくり、医療、介護、福祉、子育て、企業誘致、観光と農業連携、諫早湾干拓など)

(吾妻町：岩永好博さん)

いつもご苦勞様です。私が生きているうちに下水道工事はできるのでしょうか。生活排水のたれ流しはいつ止めるのでしょうか。川や海が汚れています。

(国見町：酒井良盛さん)

問1 「議会だより」を読まれての感想や、お気づきの点などあればお書きください。

問2 議会への意見や質問などお寄せください。

ご協力ありがとうございました。

議会へのご意見・ご感想をお寄せください！



雲仙市議会では、市民の皆様から広くご意見を伺うため、議会だよりに返信用ハガキを掲載しています。

議会だよりに読まれての感想や議会に対するご意見等をご記入の上、ご送付ください。(お手数ですが、52円切手をお貼りください)

いただいたご意見等は、議会だよりに掲載する場合がありますので、ご了承ください。



# 議会を傍聴してみませんか？

平成26年第4回雲仙市議会定例会の会期日程（案）は  
**11月27日（木）～12月17日（水）**です

- 一般質問 12月1日（月）～4日（木）
- 議案質疑 12月8日（月）
- 委員会
  - 文教厚生常任委員会 12月9日（火）
  - 産業建設常任委員会 12月10日（水）
  - 総務常任委員会 12月11日（木）



※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。  
 ※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。

## 編集後記

御嶽山の火山噴火で多数の人命が奪われております。23年前の雲仙普賢岳噴火災害を思い出しました。雲仙市の災害対策について、人命を奪われたり、家屋被害が出ないように行政と共に話し合っていかなければならないと思っています。

議会としましては、市民の皆様の生活が安全で心豊かな環境になるように意見を発していきます。

（中村 好治）



### 議会広報編集特別委員会

委員長 浦川康二  
 副委員長 佐藤義隆  
 委員 上田 篤、林田哲幸  
 中村好治、渡辺勝美

## 郵便はがき

8 5 9 1 1 0 7

お手数ですが  
 52円切手をお貼り下さい

長崎県雲仙市吾妻町牛口名714番地

雲仙市役所 議会事務局  
 「議会広報編集特別委員会」 行

（議会だより40号）

ふりがな  
 ご氏名

※議会だよりに掲載させていただく場合、イニシャルやペンネームを希望される場合は記入ください。

ご住所

電話番号( )-( )-( )